

## メリケンガヤツリ

名前が示すように外国産のカヤツリグサ科の植物で、熱帯アメリカが原産です。1950年代に日本に渡来したと言われています。河川や水路の岸などの湿った場所に生育します。草丈は30cmから100cmくらいにまでなり、生育環境により大きさが異なります。

つやつやした細長い葉をたくさんつけます。茎の先から細い枝がたくさん伸びて、枝先に黄緑色の丸い花の固まりがついています。初夏から秋遅くまでとても長い期間にわたり花を咲かせます。

### 富士市での現状

富士市全域で生育が確認されています。河川、水路、池などの岸に生育することが多いのですが、道路の端などの日当たりのよい乾いた場所にも生育し、生育範囲の広い植物です。水辺では、根元が水につかる水際から水面よりもかなり上まで生育していますので、湿っていても乾いていても生育できることがよく分かります。富士市は温暖なので、真冬でも水路の岸や路傍で、つやつやとした緑の葉をつけて群生（ぐんせい）しているのを見かけます。



メリケンガヤツリの生えている様子

### メリケンガヤツリを確認したメッシュ

